

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

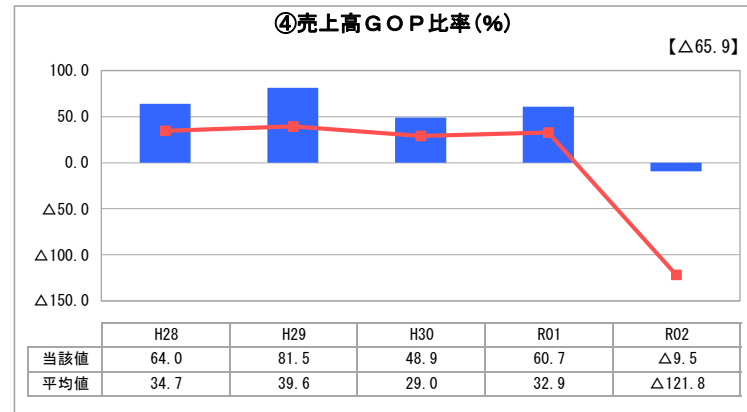
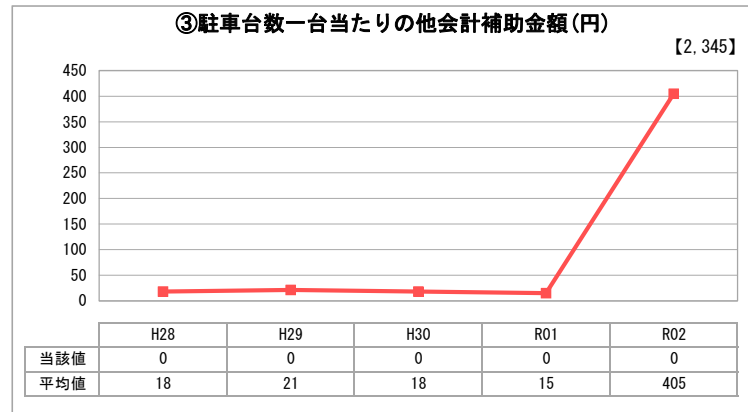
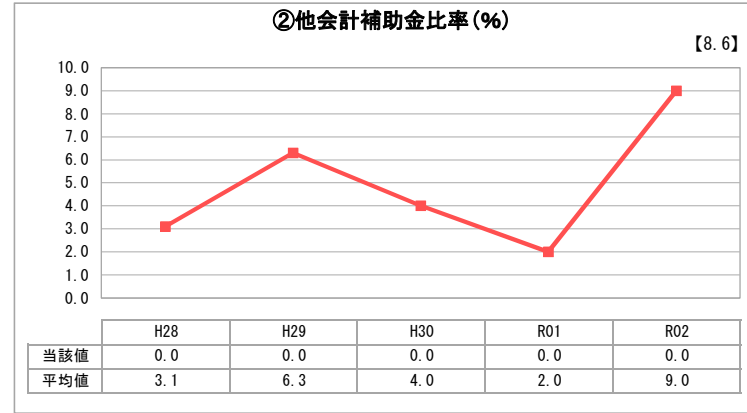
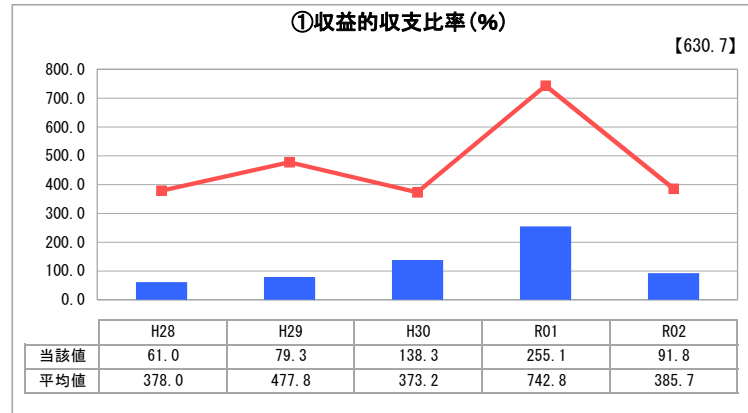
山口県山陽小野田市 厚狭駅南口駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場 附置義務駐車施設	広場式	21	

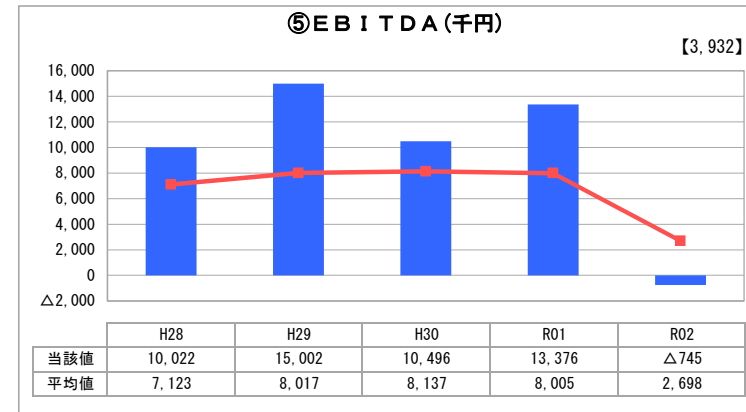
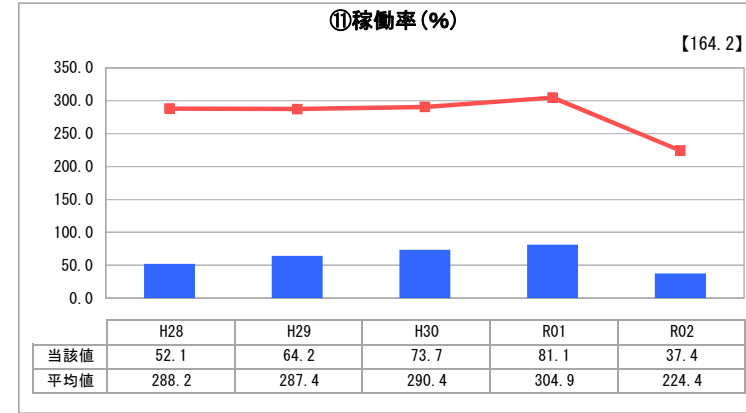
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m <sup>2</sup> )
駅	無	2,500
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
190	100	無

グラフ凡例	
■	当該施設値（当該値）
—	類似施設平均値（平均値）
【	令和2年度全国平均

## 1. 収益等の状況



## 3. 利用の状況



## 2. 資産等の状況

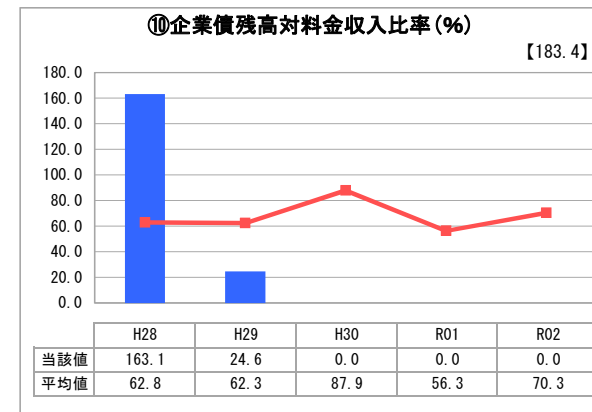
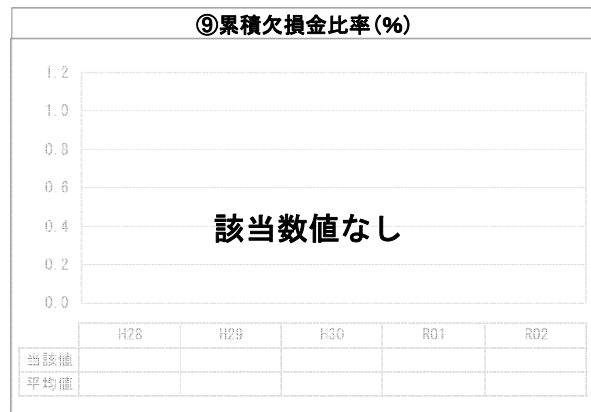


⑦敷地の地価(千円)

135,789

⑧設備投資見込額(千円)

34,674



## 分析欄

1. 収益等の状況について  
 当駐車場は、一般会計からの繰り入れをせず、料金収入で運営しており、経営状態は安定している。「収益的収支比率」については、利用者の利活用向上の観点から、平成28年度に料金の値下げを実施し、周知されたことにより数値が増加し、稼働率も微増ながら増加していた。「売上高GOP比率」「EBITDA」については総収益が増加し、総費用（臨時的な工事費等）が減少した為、数値は増加傾向にあった。しかし、令和元年度末から、新型コロナウイルス感染症の影響により、テレワークや外出自粛などが実施され、駐車場利用者が減少したため令和2年度の単年度の収支は赤字となった。

2. 資産等の状況について  
 平成30年度に地方債を完済し、今後利用者が増加し安定した経営を行っていく計画としていたが、令和元年度末から新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅な収入の減少がみられる為、駐車場施設の更新投資の計画を見直し、今後の利用動向を踏まえた計画的な施設整備に努める。

3. 利用の状況について  
 当施設は、新幹線利用者の駐車が主であるため、比較的長時間の利用となる傾向があり、回転率が上がらないため、稼働率を上げていく取組にも限界があるが、その分限られた料金収入で過大な投資を行わないよう、施設整備は計画的に実施している。「稼働率」について平成28年度に駐車料金の値下げを行なったことにより、その周知後は、駐車場利用者が増え、令和元年度までは増加傾向にあったが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けたため、減少した。

全体総括  
 平成30年度に地方債を完済し、稼働率も増加し比較的安定した経営を保てる想定していたが、令和元年度末から新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅な収入の減少がみられる。令和3年度以降に予定していた未舗装部分の整備については、数年は利用動向を観察し、実施を検討していく。今後想定される経年劣化による施設改修についても、収支の状況を勘案しながら計画的に実施する予定である。